

第 157 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 30 年 6 月 28 日（木） 13：30～15：22

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 佐々木部長 古森課長 湯浅室長 市原課長 牛尾室長

村木課長 長見所長（欠席） 外浦課長 村瀧室長

原田分室長 佐々尾分室長（欠席） 三浦分室長 小松分室長

書記：日ノ原係長 木谷主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市立学校統合計画審議会委員の委嘱について（資料 1）
- (2) 平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果の公表について（資料 2）
- (3) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料 3）
- (4) ~~浜田市立図書館複写取扱規程について~~ ※取下げ

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

石本教育長

梅雨に入ってあまり雨も降らなかったのも、また、梅雨終わりに大雨が降ると大変であると思っているが、昨夜も雷や風を含めかなり降った。もう少し降るのかと思ったが今は止んでいる。まだ明日の昼くらいまでには強い雨が降るといった予報が出ているので、気を付けたいと思う。

先般、大阪北部を震源とする大きな地震があった。この中で、学校のブロック塀が倒壊して児童が下敷きとなって亡くなるという事故があった。その後、文部科学省からすぐに調査をする様という通達があった。浜田市でも通学路全部というのは中々難しかったが学校の中にあるもの、それから周辺等についてはチェックを行い、とりあえず、倒壊の危険があるというものは学校の中にはないということが分かった。ただ、学校近辺の通学路に民家の塀が倒れそうなところがあったということで、建築住宅課に向いてもらい、コーンを並べてそこに立ち入らない様にという処

置をしたところが一か所あった。これから全ての通学路についても点検をすることになると思うが、児童生徒の安全を第一に考えて、教育委員会としてしっかりと取り組んでいきたいと思う。

それでは配布している資料に基づいてこの 1 か月間を振り返る。

- ① 5月29日(火)第156回浜田市教育委員会定例会(2階会議室)
平成30年度浜田市中学校総合体育大会

前回の定例会を5月29日に開催をした。この日を皮切りに今年度の中学校総合体育大会が開催された。5月29日、30日、31日、それから6月6日、7日、8日、9日に合計で10競技が行われた。

- ② 6月5日(火)浜田地区教科用図書採択協議会調査員会議(地場産センター)

先月の定例会の後の協議会で話をしたが、教科書採択の関係の調査会を地場産センターで行った。浜田市内1人、大田市内1人、川本町内1人計3人の中学校の先生を調査員として呼びし、協議を進めている。実は今日も隣の会議室で集まって協議、検討されているということである。

- ③ 6月6日(水)浜田警察署安全アドバイザー委嘱式(中央図書館)

これは公民館の持つ、集う、学ぶ、結ぶという様な機能を活かしながら安全教育の推進、それから防犯力のアップ、そういったことを図る目的で、公民館長をアドバイザーとして委嘱し、公民館の取組を推進してほしい、また、そういった取組のPRをお願いするといった目的で、2年任期で警察署が公民館長に委嘱しているものである。今年、委嘱替えということでその様な式典があり、参加させていただいた。

- ④ 6月9日(土)第69回全国国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会島根大会(島根県民会館)

松江で開かれた。おそらく50年ぶりくらいに島根県で開かれたという大会である。8日から始まっていたが、私は9日の記念講演だけを聞きに行った。島根大学副学長の肥後功一先生が幼児期に育てたい心の土台といった様な話をされた。私にとっては非常に難解なお話であったが、その中で、doingの自信とbeingの自信という様な話をされて、幼児教育の専門の方には誰でも分かる話であったそうであるが、私は初めて聞いた。doingの自信というのはできることに自信が持てる様にする

るということ、それから being の自信というのは自分の存在そのものに自信が持てるといった自己有用感とか、自尊感情とか言うが、そういったものも幼児期から育てる必要性について話をされた。全国から 450 人くらいの方が参加をされた大会であった。

⑤ 6 月 10 日（日）島根映画塾 in 浜田・映画塾ガイダンス（石央文化ホール）

映画塾を今年度開催するが、そのガイダンスが石央文化ホールであった。この塾は今までも県内各地で毎年行われており、浜田市で行われるのは初めてということである。もう 10 数回続いているので、浜田市の取組は遅かったのかなという気もしている。島根出身の錦織良成さんが塾長ということで、シナリオを募集して、尚且つ、そのシナリオに基づいた短編の映画を作るといった様な取組である。シナリオは今募集中であるが、最終的に完成した作品の上映会が 11 月 25 日に行われる予定になっており、半年をかけたイベントとなっている。

⑥ 6 月 14 日（木）地域学校協働活動推進委員委嘱状交付式（2 階会議室）

この会場であったが、この委員の委嘱については先月の定例会の時に委員方にご承認いただいて、おおまかな話をさせていただいた。社会教育法の改正に基づいて、今までは地域の人たちや学校に対する支援活動をするという、どちらかというと一方の関わり方であったが、そうではなく、地域も学校に関わる、学校も地域に関わるという双方向の連携で、あくまでも地域と学校はパートナーといった様な考えであり、お互いを高め合うという様な発想の下に、こういった地域学校協働推進活動ということが言われる様になっている。浜田市にとっては共育プロジェクトの中で、すでにこういった取組は行っているため、新しい取組ではなくて少し名前等が変わったという様なことだと思う。そういった委嘱式があった。

⑦ 6 月 15 日（金）サッカー J1・ヴィッセル神戸・佐々木大樹選手市長表敬訪問（市長応接室）

18 歳であり、高校を卒業して 1 年目の選手である。第一中学校からヴィッセル神戸のユースチームに入るために、神戸の高校に行って神戸の高校を卒業した後、今年の 4 月からプロ契約を結んで J1 の選手になっている。

- ⑧ 6月16日(土) 東北楽天イーグルス・梨田昌孝監督辞任
書こうかどうか迷った。これは個人的な関わりというか、趣味というか、青少年健全育成の面でも大変お世話になっているので、書かせていただいた。梨田監督が残念ながら、チームの成績不振ということで辞任をされている。
- ⑨ 6月17日(日) 平成30年度全日本同和会島根県連合会浜田支部総会(周布公民館)
研修もあったため勉強をして帰った。その前に、表に記載してあるが、6月10日に部落解放同盟島根県連合会石中央支部総会があり、これは研修はなく総会だけであったが、そういった総会にも参加した。
- ⑩ 6月18日(月) 市議会6月定例会・提案説明、全員協議会
7月3日が表決であったため、その間、議会で色々と質問や委員会の審議があった。
- ⑪ 6月24日(日) 平成30年度浜田市PTA連合会研修大会(県立大学講堂)
中四国インディアカ交流大会(ふれあいジムかなぎ)
資料に書いてある様に、教育サポーターの仲島正教先生が『あーよかったなあなたがいて～「優しさ」という温かい貯金～』といった様な演題でお話をされた。親から愛されているかということ子どもが感じる事ができれば、心の安定、安らぎに当然つながるし、心が安定するのだというお話であった。子どもをしっかり抱きしめるといったことも大事であるとお話の中で言われていて、梅津先生が、1日3食心も3色と言っておられたのを思い出したところである。この公演は評判が良く、また先生のお話を聞きたいという声も聞いたところである。
- 同日、中四国インディアカ交流大会が開催された。簡単に書いているが正式には、第21回中国四国ブロックインディアカ大会 in 島根というのが正式な名称である。中四国の6県から46チーム、247人の選手が参加をされて、盛大に開催された。今年、シニアの部で浜田市のチームは全国大会に出たが、この大会でも優勝していたのでおそらく、来年度もまた全国大会へ出るチームになると思う。
- ⑫ 6月27日(水) 平成30年度第1回公民館職員研修会(中央図書館)

参加はできなかったが、午前中、公民館職員の研修会、それから昼からは小中学校の校長先生、教頭先生といった管理職の先生を中心とした社会教育の講演会が開催された。どちらの研修も、講師の先生は資料にある医療法人教育支援協会の代表吉田博彦先生という方であった。この方は中央教育審議会のリーダーとか、色々な文部科学省の審議会等の役をやっておられる、かなり中央で活躍されている先生である。わざわざ来ていただき、1日講演をしていただいた。

⑬ 6月27日(水) 日本財団海洋事業部・渚の交番事業ヒアリング(4階講堂)

渚の交番というのはいわゆる海の安全、安心を守る活動をする拠点を整備するという事業で、民間団体に対してこの日本財団が支援をしてその施設を作るといったもので、1億円くらいまでは施設整備にお金を当てることができるようになったという事業である。実は浜田市でも民間で、そういったことをしたいという団体があり、7年ほど前から日本財団が色々と協議をされている。ただ、その海の安全を守るだけでなく、施設ができた後、公共性を保つために、公共的な事業ができないかという様な課題がある。海のことであるので、ふるさと教育の中にも1つの項目として海洋教育について今でも取組をしている学校は多いが、海洋教育の拠点といった整備ができないかといった様なことで、昨日初めて教育委員会も交えてお話しをさせていただいたところである。1億円のお金を出すということであるので中々ハードルが高く、すぐにはできないかもしれないということで、引き続き協議をしていくということで昨日は終わっている。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

宇津委員

6月13日浜田市テニス同好会要望とあるが、内容をお聞きしたい。

石本教育長

ご説明せず申し訳ない。テニス同好会の要望に来られるということで、今、スポーツ施設の再編の話をしているので東公園の中にテニスコートを残してほしいという話であるかと思っていたが、そうではなくて、いわゆるスポーツに限定した奨学金制度を

作る考えを書いた要望であった。確かに今、サッカー等の競技で、県外の高校に出る生徒がかなり多い。そういった生徒たちの保護者の負担がかなり多いということで、スポーツに特化した奨学金制度ができないかという話があった。調べてみたが、競技団体が独自に色々やっているところはあったが、いわゆる地方公共団体でそういった支援をしているところはなかった。今の現状では難しいという話をさせていただき、今後の検討課題としてこれからも情報を集めて研究してくださいとのことであった。どうしてもそれを作ってほしいという要望というか、この様なこともあるので考えてもらえればといった要望である。

錦織圭選手がアメリカに行くときに、盛田さんの基金を使って奨学金をもらって行っておられる。そういう様に、企業やスポーツの競技団体が、そういった寄附を元に奨学金制度を作っているところが確かにある。先ほど言った様に行政でそれをするというのは中々ハードルが高いかと思う。

石本教育長
委員方

その他は良いか。
特になし。

2 議題

(1) 浜田市立学校統合計画審議会委員の委嘱について (資料 1)

古森課長

委員の変更があり、それについてご承認いただきたいものである。委員については、旧委員の原井幼稚園の PTA 会長であった信原さんが転出をされたということで、後任には美川幼稚園の益田さんに入っていたいただき、7月5日の審議会から出席をしていただきたいと考えている。承認をお願いしたい。

石本教育長

審議会委員であるが、信原さんが転出ということで後任の委員として益田まき子さん。美川幼稚園の PTA 会長ということであるが、何か質問があるか。

委員方

特になし。

石本教育長

それでは後任の委員として、益田まき子さんに委嘱をするということで承認いただけるか。

委員方

全会一致で承認。

石本教育長

ありがとうございます。それではその様に取り掛かるということでお願いします。

(2) 平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果の公表について (資料 2)

石本教育長

これは毎年度この時期に委員方にお諮りしている案件である。今年もおそらく 7 月下旬辺りに学校に成績が届くということであるが、公表の取扱いについて今年度も本定例会で決めさせていただきたい。それでは事務局から説明する。

牛尾室長

結論から言うと昨年度と変わっていない。資料にあるとおり、浜田市教育委員会は、下記の理由から個々の学校名を明らかにした調査結果の公表は行わない。また、学校に対して学校名を明らかにした公表の指示もしない。根拠として「調査目的から」は測定できるのは、学力の特定の一部であることや学校における教育活動の一側面であるという様なことから公表の必要性を感じない。それから「公表後の影響から」ということで序列化を招いたり、過度な競争につながったりする可能性がある。評価をされたり保護者の声があるのでということ。「児童生徒の個人情報の保護や学校・地域の実態から」ということで学校名を明らかにした公表を行うと、小規模校はたくさんあるので、個人特定のおそれがあるということが挙げられる。

そして「自校で行う調査結果の公表についての市教委としての考え」としては各学校が行う自校分の調査結果の公表は、適切なものとなるように各学校で判断して行う。ただ、紙媒体または口頭で行うということで、インターネット利用による数値の公表はデータが集めやすくなるので、序列化されたりということがあるので行わない。

石本教育長

以上のことから公表は行わないということでお諮りしたい。

事務局から資料に基づいて説明があった。

資料の自校取扱いについては去年と同じであるか。

牛尾室長

同じである。

石本教育長

内容的には今までと同じであるという様に思う。序列化を招いて過度の競争になったり、いたずらに保護者の不安をあおったりだとかそういったことがない様にとといった配慮である。また、調査の目的からは今回の調査については一側面、一部分しか実際には評価をされていないというところで、全体の評価とは違うといったこと、そういった観点から公表については今までどおり、個々の学校名を明かした調査結果の公表を行わないというのを浜田市教育委員会の考えとしたいということである。ご意見等があれば願います。

藤本委員

私はこれで良いと思う。

宇津委員	松江市が公表に踏み切った経緯があるとお聞きしているが、その後、県内の動きは更に広がろうとしているのか、あるいはしぼんできているのか、あるいは平行線をたどっているのか、私も把握していないが、その後の状況については何か聞かれているのか。
牛尾室長 石本教育長	情報を集めていない。 私が知っている限りでは増えていない。これはおそらく全国的にも増えてないと思う。ただ、首長方が集まれる会議の中では公表して、きちんとした評価をされるべきだといった様な意見が出ている様な話を聞くが、どこも教育委員会が反対しているところが多いので、実際に公表はされていないという現状であると思う。
宇津委員	やはり考えるときに真っ先に出てくるのが調査目的というところが1番大きいと思う。我々もそうであるし、学校も、特に校長先生方も資料にある、教育指導の改善に役立てられたということ、やはりきちんとおさえられていないといけないかなと思う。公表してほしいという声はどのくらいあるか分からないが、言葉で言うほど簡単でないのはよく分かるが、機会があればまたお話を伺いたい。
石本教育長	そういったことが調査の目的であるので、当然、学校の弱い部分については対応策を考えて取り組むということがどこの学校でもある。
藤本委員	私たちの間では一貫して、ここにある様に状況調査である。ところが、マスコミでは学力テストという言葉で捉えられている。この辺りが調査とテストでは当然違うわけであるから、受け取り方も当然変わってくる。これは今さら言ってもどうにも改善できることとは思えない。やはり、それぞれの学校の状況が違う中で、テスト結果だけを公表するというのは別の問題を含んでいるので、私は賛成できないということでここに書いてある提案が良いと思う。
石本教育長 委員方	他に意見はあるか。 特になし。
石本教育長	それでは事務局から提案があったとおり、今年度の学校で行った調査の公表は行わないという方針を、浜田市教育委員会として決定してよろしいか。
委員方	全会一致で承認。

石本教育長 | ありがとうございます。それではこれに基づいて公表は行わないということである。この結果については来週、7月の初めに校長会があるのでその中でお話をし、先ほど宇津委員からあった意見についても指導していきたいと思っている。

(3) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について (資料3)

村木課長 | 平成30年3月31日に任期満了になった当委員会について、浜田市立図書館協議会条例第3条第2項の規定により、新たに2年間委嘱する方を承認いただきたいと思う。委員であるが、条例で定数10人以内ということで所属団体は概ね今までと同じであるが、2番目の島根県立図書館三田憲昭さんは新たな委嘱である。図書館ができて5年を迎え、また、図書館長も新たに決まったということもあり、この度、島根県職員の図書館支援課長で、西部読書普及センターの時から色々お付き合いがあり、学校教育にも指導をしていただいている三田憲昭さんに、委員を委嘱するといった提案である。

三田さん自身も他の市町の協議会委員になって、現在もされておられるといったこともあるし、手続き的にも図書館長からの承諾を得ているところである。三田さんは浜田市の出身でもあるので、浜田市の図書館の協議会委員となって更に図書館の発展に寄与したいということもあり推薦させていただきたいと思っている。他の所属団体においては同じ方の推薦になっている。

石本教育長 | 三田さん以外に新規の方はおられるのか。

村木課長 | 所属としては4番の学校関係者の玉木校長と、7番の浜田市PTA連合会の平野さんと聞いている。

石本教育長 | ただいま事務局から委員の名簿について説明があった。新たに県立図書館の図書館支援課長が委員に入られるということであるが、この件について意見があるか。

藤本委員 | 9番と10番の方について、所属団体での役職はどのような方であるか。

村木課長 | 9番の浜田商工会議所の吉本さんは副会長である。10番の浜田市社会福祉協議会の大島さんは事務局長である。

石本教育長 | 特に選出区分は、どういった関係者とか何名とかはないか。

村木課長 | ない。

石本教育長 | 何年か前から、「家庭教育の向上に資する活動を行う者」というものが新たに加わった。

委員方	他に意見があるか。
石本教育長	特になし。 それではここにある 10 人の方に、浜田市立図書館協議会の委員を委嘱するという事によろしいか。
委員方	全会一致で承認。

3 部長・課長等報告事項

佐々木部長	<p>平成 30 年 6 月市議会定例会 個人一般質問一覧（資料 4）</p> <p>先週一般質問は終わったが、全体で 20 名の議員から質問があり、この内教育委員会の関係の質問をされたのは 13 名である。それでは資料 4 を 3 枚めくっていただき、最初に柳楽議員の質問である。柳楽議員については登下校の見守りということで、見守り体制とか不審者情報に関する質問があった。答弁については後ほどご覧いただきたいと思う。</p> <p>川上議員からは、浜田藩の終焉についての質問があり、その内容についてお答えした。</p> <p>西田議員からは、サン・ビレッジ浜田についてということで、サン・ビレッジ浜田のその後の取組についてという質問があった。</p> <p>道下議員からは、まず、いじめ対策ということでこれについて認知件数の現状であるとか、現状認識と対応策についての質問があったところである。次に不登校の対策についても質問をされた。これも同じ様に不登校の現状認識と対応策、それから不登校といじめの関連についての質問もあったところである。それからインターネット利用環境の対応策推進についてということで、小中学校児童生徒のインターネット利用環境の実態であるとか、それから実際にスマートフォン、携帯電話持ち込みの現状と対応策。それからスマートフォン、携帯電話の利用に係る家庭・学校での指導の徹底についてということで、資料には出ていないが再質問の中で、いじめに関連して相談窓口として LINE を導入してはどうかという質問もあった。これについては今、文部科学省が全国で 26 校であったと思うが、モデル的にそういう取組を試行しているということもあったのでそういったお答えをさせていただいた。</p> <p>芦谷議員からは、学校給食センターの統合問題の現状と今後についてという質問があった。これについては学校統合の審議</p>
-------	---

会でも審議していただいているので、しばらく時間が欲しいという回答をさせていただいたところである。それから、給食センター統合問題の先送りの影響及び対処の考えについてという質問もいただいた。それから、市誌編纂業務の進め方についてという質問をいただき、これについてもそれなりに時間がかかるという様なお答えをした。

笹田議員からは、小学校の登下校について、柳楽議員からの質問と関連して、登下校の安全対策についての質問があった。それから2点目として、地域での安全対策ということで、資料に答弁が書いてあるが、これに関連して再質問で例えばウォーキングであるとか、犬の散歩をしておられる方に腕章を付けてもらい、こういう取組をしているということを知らせる様なことをやってはどうかという提案があった。ちょうどこの質問の2日前に、山陰中央新報にこういった記事が出ており、金沢市でこういう取組をされているところがあったので、そういったものについての質問があった。続いて、統廃合された校舎に残った作品等の現状ということで、今、統廃合された学校に残っている美術品がどうなっているかという質問があった。それと、こども美術館のイベント検証ということで、そういった浜田市にゆかりのある作品の展示についてどういう様な形で提出等されているのかという質問をいただいた。

村武議員からは、学校経営について、まず、小中学校の課題についてPTA総会等への参加状況についての質問があった。つい先日も浜田市PTA連合会研修があったが、そういった総会等への参加状況についての質問があった。次に学校内での課題の共有、解決への取組についてということで、学校内でどういふふうな取組をしているかという質問があった。また、公民館とまちづくりについてということで、公民館の役割として、公民館がまちづくりについてどの様なことができるのかという質問、あるいは、まちづくりと公民館の関係についての状況についての質問、それからまちづくりと公民館の今後の構想、いわゆる公民館とまちづくりの関係についての質問があったところである。

牛尾議員からは、御便殿についてということで、最初はこれまでの活用の状況についての質問があった。それから、開府400年に向けての活用についてということで、ちょうど来年開府

400年のイベントがあるが、そういったところで御便殿を活用できないかという質問をいただいた。

岡本議員からは、幼稚園と保育所・認定こども園との連携仕組みづくりということで、現状と課題についての質問があった。それから次に、発達障がいの接続プログラムについてということで、実際に浜田市でも取り組んでいる内容であるので、そういったことの回答をさせていただいた。

渋谷議員からは、まず、運動施設の考え方についてということで、新たなビジョンの提示ということである。要は、スポーツ施設については再編計画を策定中であるが、今ある施設を修繕してどうなのかという質問があったところである。続いて、美川小学校と第四中学校の新築について、いつになったら建て替えるのかという様な質問があった。それと、教育現場における過重労働解決策についての取組についての質問があったところである。

小川議員からは、色覚検査の関係の質問があり、まず小中学校での色覚検査の実施状況と現状把握について。それから、それに伴う教育指導の現状と子どもへの配慮と対応についてという質問があった。それから、色覚チョークの導入についてということで、チョークの材質であるとか導入について今後どの様にするのかということについて質問があったところである。

三浦議員からは、食育推進の中で学校の食育ということで、給食に関する食育の重要性であるとか、今後の給食センターのあり方についての質問があった。

野藤議員からは、最初に浜田開府400年の事業ということで、御便殿の活用について。牛尾議員と同じ様な内容であるが、開府400年に向けた御便殿の活用についての質問である。それから幼稚園教育についてということで、市内4つの公立幼稚園の現状や園児数についての質問があった。それから、松江市や雲南市の幼保園についてという質問があったが、松江の幼保園は、公立の保育園と幼稚園を統合した様な形のものであるのでそれについて答えさせていただいた。続いて、統合幼稚園や保育ニーズへの取組ということで、原井幼稚園と石見幼稚園の統合の取組についての質問をいただいた。それから、小中学校教育ということで、浜田市出身のオリンピック候補についての質問、また、「ようこそ先輩」という事業についての取組につい

での質問、それから最後に、今年の全国中学校体操競技選手権大会広報、支援準備状況についての質問をいただいた。

以上の様な質問があったところである。

佐々木部長

平成 30 年度 一般会計補正予算（第 1 号）説明資料（資料 5）

今回の 6 月議会の補正予算であるが、教育委員会の関係としては資料の 8 ページの、10 教育費の、35 番と 36 番については財源振替ということで、実際に予算が動くものではない。37 番が文化振興事業ということで、宝くじの助成が決定したため、これを新たに歳入歳出に補正額 3,200 千円を組ませていただいた。内容については記載のとおりである。38 番の運動施設改修事業は、B&G 財団助成金が決定したということで、老朽化した艇庫のシャッターを改修する経費を補正で 3,500 千円挙げているということである。

教育委員会の関係についてはこの項目、大きく 2 つということである。

古森課長

行事等予定表（資料 6）

まず、資料の日付が先月のものから変更になっていないので、6 月 28 日（木）から 7 月 31 日（火）に訂正をお願いします。

内容について、7 月 4 日（水）から教育委員方の学校訪問が始まる。4 日（水）、5 日（木）、6 日（金）、9 日（月）、10 日（火）、12 日（木）の 6 日間あるのでそれぞれ 8 時 35 分出発予定にしているのでよろしくお願いします。それから、すでにご案内しているが 7 月 13 日（金）には松江市で委員方の会議があるので出席をお願いします。7 月 23 日（月）、24 日（火）でスーパーティーチャーによる教員研修ということで、国語と算数がそれぞれ国府小学校と旭小学校である。これについては希望があれば参加していただいて大丈夫ということであるので、突然委員方が行かれると驚かれるかもしれないが、参加をしていただければと思う。それから 7 月 28 日（土）はまだっ子共育フォーラムについては、後ほど生涯学習課から説明がある。

古森課長

学校施設におけるブロック塀等の有無について（資料）

冒頭の教育長のあいさつの中でもあった様に、6 月 18 日の大阪北部の地震によってブロック塀が崩壊して児童が亡くなら

れる事故があった。文部科学省や県から調査をする様に依頼があった。浜田市の学校施設においても、まず敷地内のところで調査を行い、ブロック塀等があるところを確認済が、雲雀丘小学校、雲城小学校、今福小学校、弥栄中学校、原井幼稚園、長浜幼稚園の6か所であった。ブロックでの構造物は他にもあるが、それは危険ではないということで現在対象から除外している。資料裏面について、雲雀丘小学校についてはジョウロが掛けてあるところがブロック塀となっている。雲城小学校と今福小学校についてはプールの外周、もしくは手洗い場のところがブロック塀となっている。弥栄中学校については入り口のところに、昔正門であったという話を聞いたが、そこにブロック塀がある。原井幼稚園については外周ほぼ全部がブロック塀である。長浜幼稚園については線路側を中心としてブロック塀があるという状況の写真である。これは建築基準法上で1.2メートル以下と2.2メートル以下のところで基準があり、鉄筋が必要であるとか、控え壁が必要であるとか基準があるが、その基準の上で目視では確認した。今、鉄筋が入っているかどうかというのは、機械を使ってチェックしている最中であるが、今のところ問題は発生していない。

牛尾室長

平成30年度 学力向上対策事業進捗状況・今後の予定等（資料7）

まず資料項目1のコア・ティーチャーで、福井市の教育視察の研修である。ちょうど先週の6月18日から22日の1週間、長浜小学校の小田教諭と第一中学校の品川教諭と私が行ってきた。5つの学校で受け入れていただき、またの機会で報告したいと思うが、結論から言うと、授業等を見せていただいたが、浜田市の頑張っている教員と大した差は感じなかった。浜田市の様に困難な学校もあり、授業中に机に伏せている様な、そういう飾らない場面もを見せていただいた。ただ、圧倒的に違うと感じたのは1つ目に家庭教育力の高さである。いわゆる宿題は圧倒的に多く、家庭学習の時間も多し。2つ目に、それをみんなが当たり前のこととして徹底し、当たり前にやり切らせること。例えば、宿題が多くてもこれをきちんとやり切らせ、先生は朝早く学校へ来てノートを確認している。これは浜田市の教員も一緒であるが、色々な場面できちんとやり切らせるという

こと。そして3つ目は、学力調査での傾向と対策に歴史があること。2017年で66回目となったSASAという県の学力調査がある。以前は小学校6年生と中学校3年生に実施していたが、全国学力調査が始まってからは、小学校5年生と中学校2年生の12月に実施している。そこで色々な課題や弱い部分が出たら徹底的に対策する。そして、次の年度にその学年が上がって、4月に全国学力調査が小学校6年生と中学校3年生でやるという様なサイクルであるが、そのためにやっているのではないという説明はあったが、学力調査を意識した流れをやっていると感じた。66年という歴史があるので、それなりの傾向と対策はやはりあるのだろうと感じた。

項目2のスーパーティーチャーによる教員の研修ということで、5月16日に今福小学校で筑波大学教育学部附属小教諭大野先生の算数の授業があり、30名の参加であった。先ほど教育長から話があったが、7月23日に国府小学校4年生、7月24日に旭小学校4年生。それぞれ、国語、算数でスーパーティーチャーに来ていただく。とにかく良い授業を見るというのが1番の教員の研修になるので、委員方も、是非見に来ていただきたい。

それから項目3は、協調学習の研修が8月にある。

項目4は、学校図書館活用教育に関する学習研修会で、すでに終わっているが6月1日に「図書館を使った調べる学習コンクール」の研修会を行い、40名の参加であった。この研修会の講師の重野さんという方の講演を私は初めて聞いたのだが、とても印象に残る言葉が1つあった。「学力向上のためにはこれだと決めたことをとにかく続けることである。長く続けないと当然成果は出ない。ただ続けるためには楽しくないといけない。」と言われた。であるので、図書館を使った調べる学習で、児童、生徒たちの意欲とかおもしろいなということを引き出しながら、10年以上続けているということを言われていて、なるほどなと思った。

項目5の指定校の公開授業は予定どおり順次開催である。

項目6の、色々なコンテスト、コンクールについては予定どおり行う。

それから次に多くの資料が付いているが、これは6月の校長会で校長方に配布した資料である。であるので、委員方にも

解しておいていただきたく、資料を付けている。全てを詳しく説明はできないが、まず1つ目に、裏に6個の項目がある。それが第2次浜田市教育振興計画の評価基準で挙げられたものがいくつかあり、小中連携教育の目標としてもこれを挙げている。ところが裏に斜線を入れているところがある。これは全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の項目を使って見ていこうとしたところ、平成28年度に4番の項目が削除され、加えて平成29年度には、5番の項目、そして平成30年度には、1、6番の項目も削除されている。来年度はどうなるかわからないが、これでは評価ができないということで、小中連携教育推進委員会の中で相談し、やはり最初に決めたものは続けた方が良くということで、浜田市独自のアンケートを作って資料を付けている。今年度から小学校6年生と、中学校3年生へ11月頃にこの6項目についてアンケートをとり、平成33年度の目標値に向かって数値を見ていこうということにした。

もう1つの資料である。今、新学習指導要領の実施に向けて、まず浜田市の学校の学習の見通しを最初に持つ。そして、自分の考えを持って、ペアやグループや色々な学級で話し合い学習を行う。そして、学習内容や方法を振り返りをしていくということでやっている。この資料の2ページを見ていただきたい。この表をグラフにしたものが2ページ目の項目1であるが、授業の始めにめあてやねらいを示されていたかという項目であり、これも全国学力・学習状況調査の項目からであるが、4年間の推移を見ていただくと、青が浜田市の小学校で緑が中学校である。上昇しているのがわかる。であるため、めあてやねらいを明確にした授業を組んで、そういう改善を行ってきたかなと思う。緑の中学校は全国より少し下回っているが中学校も生徒たちが意識を持っているなど感じる。それから資料5ページ目、学習内容の振り返りを行っているかという意識調査であるが、これも見ていただくと青の小学校は、2016年から2017年は少し下がっているが、2014年から比べるとそういう意識が上がっている。中学校も2014年と2017年を比べると、倍近くに上がっている。それを踏まえて、「学習の見通しを持ったり、振り返りをきちんとしたりということ意識して教員たちが授業をする傾向が増えたから、もうこれで良いということではなく、それを意識して今後も授業改善をやってください。主体

的、対話的などというところでそちらを重視しすぎて、今まで積み上げてきたものがい加減にならない様に浜田市の強み、自信としてやっていきましょう。」といったことを校長方にお伝えした。他の部分についてはまたご覧いただきたい。

牛尾室長

平成 30 年度 小学校外国語教育について (資料 8)

7 月に入って教育委員方が学校訪問をされる。その時に、小学校の外国語活動の先行実施に当たってどの様な状況かということそれぞれ質問されるので、教育委員会としてはどういう取組であるのかということをご承知おきいただきたく、お配りした。小学校の外国語活動の先行実施という形で 3、4 年生年間 35 時間週 1 コマ、5、6 年生年間 70 時間週 2 コマの授業を行う。そのため、週 1 コマ増えることによって、月曜日に 5 校時を 1 コマ増やしているところが多い。それによって色々工夫をしているわけであるが、負担感というか、過重負担になっていないか、うまくいっているかということが 1 つの課題である。

それから、項目 4 の人的支援について、ALT や外国語サポーターを配置していただいているが、時間数すべてに着くのは無理である。3、4 年生について週 1 時間はそこに必ず ALT が着く様にしている。5、6 年生については 2 時間あるので 1 時間は着くが、もう 1 時間は担任 1 人で行うという状況が多いと思うので、この辺りで 5、6 年生の担任の指導はどうであろうかとか、あるいは 3、4 年生、初めて外国語活動に取り組む教員も多いわけであるから、その辺りはどうであろうかということもある。

項目 5 はその他の浜田市教育委員会のサポート体制であるが、全ての学校に指導主事が英語担当で着くので、学校訪問をさせてもらったところで授業主体ということではなく、授業をやらせてもらっても良いし、校外研修で英語の研修をやらせてもらっても良いしということで、全ての学校に 1 回は必ず行く。それから月 2 回、18 時 30 分から英会話教室を行っている。ただ、今は中々忙しくて数人の参加であるがこれを週 1 回、やっていこうということで、こういう策をどうしていこうかということである。2 学期以降は ALT を 1 人増員するという事である。

村木課長

はまだっ子共育フォーラム テーマ「育もう！未来をつくるは

まだっ子」～これからの浜田の子どもたちに身につけさせたい力『非認知能力』とは～（資料9）

先ほど日程調整で最後に出た7月28日のはまだっ子共育フォーラムであり、初めての事業である。テーマ「育もう！未来をつくるはまだっ子」これからの浜田の子どもたちに身につけさせたい力『非認知能力』とはということで、この認知能力というのは、定義上ではIQ（知能指数）に関係なく意欲、協調性、忍耐力、計画性などの個人の特徴を表しているという能力であるが、こういったことをテーマに進めていきたいと考えている。このフォーラムの目的であるが、新学習指導要領に示されている社会に開かれた交友関係の実現に向けて、次世代を担う子どもたちの人間形成において求められるものの子どもの育ちを支える大人が担うべき役割を、学校や地域と共有してはまだっ子共育プロジェクトの推進を図るために行うもので、会場はふれあいジムかなぎのAアリーナで考えている。

委員方には改めて案内をさせていただいて、今日は紹介という形ではあるが、対象者としては市内の小中学校の校長または教頭、更には小中学校のふるさと教育の担当者の方、地域連携の担当者の方、小中学校の保護者の方や幼稚園や認定こども園、保育所の職員や保護者の方、それから、先般、委嘱をさせていただいたコーディネーターの方々、更に公民館の職員に案内をしたいと考えている。

講師には岡山大学の中山先生をお招きしたいと考えている。10時から16時と長い時間ではあるが、初めてということもありこの事業を成功させたいと考えている。

村木課長

平成30年度 教職員を対象とした「ふるさと郷育研修」『浜田の魅力あるふるさと巡り』実施計画（資料10）

これも今年度初めての事業である。過去には何回かあったと聞いているが、私が係長の時にはなかったのでこの5、6年間はなかった。

浜田市の魅力を学校の先生に直接伝えるものである。浜田市ふるさと郷育の推進に当たって、教職員の方が市内の魅力ある教育資源に触れることによって、各校のふるさと郷育に資するためのものである。対象者は、市内に新しく赴任された小中学校の先生や、各校のふるさと郷育の担当者等である。

日程であるが、派遣の先生方と色々話をさせていただいて、今年度は三隅、弥栄、金城、旭を巡るといったところで石正美術館、弥栄のワタブン、三隅のゆうひパーク駐車場と、それから佐野分館の2階がいわみ福祉会の神楽工房になっているので、その見学、かなぎウエスタンライディングパーク、木田暮らしの学校という様なことで、それぞれ、浜田市の資源を活かしたふるさとを感じてもらえればと思っている。

予算としては県のふるさと教育の推進費用を使って事業展開を考えている。

村木課長

自然体験学習推進事業の計画（資料11）

今年度で3年目となった。全ての学校から提出があったので、本日お知らせということで、資料に載せている。これは、小学校と幼稚園に委託をして、助成するといった制度であり、それぞれ学校の中でオリジナルに海、山、川といったところを主に体験するという授業である。中には農園とか茶園といったところもあるが、自然へのふれあいを大切にしたいと思っている。

また、昨年スキー場でのケガ等もあったし、自然ということとなると色々リスク等もあろうかと思う。ご覧のとおり、カヌー体験やスキー体験、それぞれ安全を期して、それぞれの学校において今年度も取り組んでいただくこととなっている。カヌーにおいては幼稚園も先ほどの話にもあった、海を活かした自然体験を小さい時からやっという事で、まずは藻塩作りや、カヌーからといったところも支援をしていきたいと思っている。委員方においては、各学校、学年ごとに、今こういった計画をしていることをご承知おきいただければと思っている。

村木課長

平成29年度「ふるさとの50人」活用状況（3月アンケートまとめ）（資料12）

平成28年3月に生涯学習課で作成したいわゆる教材の本である。毎年、どういった使い方をしているかということの調査をして、この本の評価をしているところである。対象としては小学校の4年生から6年生の担任と、司書教諭や、学校図書館司書の方々に、それぞれアンケートをさせていただき、全ての学校から提出されたところである。

調査結果として、各小学校で大体は、重たい大きな本であるので、個人ロッカーの中に入れてあるものの、活用としては、国語、社会、体育、音楽、更には総合的な学習の時間、道徳といったところで、それぞれ工夫を凝らして各学校の先生方に使ってもらっていることが分かった。

また、図書館での活用ということで図書館司書の方のレファレンスの中で、子どもたちと話して、「あの人の本はどうか。」といった形で説明してもらったと聞いている。

裏面をご覧いただきたい。決して人気投票ではないが、大体50人の全ての方が、何らかの形で子どもにふれていると思っている。岡本甚左衛門さん、久保田さんや、竹本さんが多く取り上げられているが、広く、50人の人たちが取り上げられていると思う。更に学年別にみると、小学校4年生用に文脈等も考えて作ったものであったので、やはり狙いどおり小学校4年生に多く使われていると、生涯学習課では評価している。小学校5、6年生になって深い学びになり、これが図書館の学びにもつながるものかということで、今年度もアンケート調査はしていきたいと思っている。年に1度、こういった形で事業評価をしていきたいと考えている。

村木課長

JFA（公益財団法人 日本サッカー協会）こころのプロジェクト「夢の教室」の開催について（資料13）

JFA（日本サッカー協会）の協力を得て、いわゆる夢の教室という、プロの方をお招きして児童たちと接することによって、仲間との協力や、努力の継続をすること、最終的には夢を持つ大切さなどを、お話ししていただく授業である。浜田市では平成22年度から行っており、今回、7月6日に長浜小学校で実施する。今年度は、講師としては初めての新体操選手で、北京オリンピック代表の坪井保菜美さんである。過去の実績については資料のとおりである。サッカー協会の活動ということもあってサッカー選手の方が多かったが、今までもバレーボールやクライマー、野球、水泳、K-1等の選手に来ていただいております。今回は新体操ということで、7月6日の午前午後4年生を対象とした授業を計画しているので、ご承知おきいただきたい。

全体像 教育大綱・教育振興計画 基本理念（資料）

まず、資料を見ていただいて、これは今、浜田市の公民館がやっている事業である。前回の定例会では、それぞれ公民館が国や県の事業を取っているという一覧をご紹介させていただいた。今日はそれぞれの公民館が、どういった狙いをもって事業をしているかということについてご紹介させていただく。今、カラー刷りの横の資料であるが、やはり公民館は公益機関ということで、教育大綱にある「夢を持ち郷土を愛する人を育みます」ということを基本理念として、ふるさと郷育を基本にして、公民館は「はまだっ子共育プロジェクト」と、右の「郷づくり、地域づくり」のこの2つを事業展開しながら、基本理念に向かって行っている。次に、分厚い資料を付けさせてもらっていて、これは26ヶ所の公民館全てが年度当初に、平成30年度にどういった事業をするかということをもとめたものである。

今日は、時間の都合上、浜田公民館のみをご説明する。まず、浜田市公民館連絡協議会のテーマとしては、全ての公民館が、『人を育て、郷を育てる』公民館』というスローガンで動いており、公民館の方針や、今年度の重点項目をそれぞれ、公民館の中で話して、こういう形で書いている。主な事業というのが、先ほどあったふるさと郷育の推進を基本として、上がいわゆる地域づくり、下がはまだっ子共育プロジェクト、地域区分で子どもを育むということで、先ほどのA4のカラー刷り資料でいうとそれぞれ、左が子どもの関係、右が大人の関係であったが、この図でいうと上下となっており、1階がいわゆる子どもの事業、2階が地域を作る事業である。それぞれ、事業名で国や県の事業を組むということがここに書いてある。その下がいわゆる生涯学習の振興ということで、サークルや団体の支援をすることが書いてある。今年度の、創意工夫した点をそれぞれ、公民館に応じて平成29年度と平成30年度で色々考えて、平成30年度の特徴をこういった形でまとめている。

次のページに、事業一覧とあり、ここに具体的に先ほど申したふるさと郷育の推進、目指すところは「夢を持ち郷土を愛する人を育む」ことであるが、それぞれ、1階の部分である、はまだっ子共育プロジェクトの事業はふるさと再発見事業であるとか、学校支援事業とか、放課後支援事業である。活動名の

横に、概要が書いてある。2 階には地域づくりということで、ふるさと地域学習事業や人権・同和教育推進事業、人材育成事業があり、活動名と概要がある。その下は生涯学習課の振興であり、サークルや教室を載せている。その下は、その他の事業も載せている。

公民館としては先ほど申した、人を育て郷を育てるという大きなテーマの中で、それぞれ、はまだっ子の事業と地域づくりの事業を分けて展開している。更に右に、Ⅲ-5 やⅦ-4 など関連がある。これは、何のためにかというと、先ほどのカラー刷り資料の裏面を見ていただくと、総合振興計画の大綱があり、例えば、何のためにこの事業を公民館でするかということ、Ⅲ-5 のためにするということであり、Ⅲ-5 というのが、夢を持ち郷土を愛する人を育む町の歴史文化の伝承と、創造のためだという様なこととなっている。全て、公民館の事業は総合振興計画の部分を狙いながら行っているという紹介をさせていただければと思っている。これを作るのも大変ではあるが、そのために、公民館は職員の中で、「ああでもない、こうでもない。」と話しながら、全ての公民館が年度当初にこれを作成している。

石本教育長

以上資料のあるところについては報告いただいた。資料がない課で報告事項等あるか。

原田分室長

金城の下来原で、現在、島根県立大学の学生がシェアハウスの学習会を行っている。今年度の活動の日程がある程度決まり、皆さんに周知をお願いしたいということがあり、お知らせする。これは今、金城のシェアハウスに住んでいる学生が、地域交流活動の一部として金城中学校の生徒を対象に行っている取組である。これは平成 28 年度から実施している。例年、高校入試を控えた 3 年生を対象に学習会を開催しており、昨年度 9 人の生徒が受講している。学習会の授業については、毎週土曜日の午前 9 時から開催しており、1 コマ 60 分を 2 コマ行っており、授業料は 1 コマ 500 円ということで、行っている。特に、今は、数学と英語を教えておられ、生徒が 1、2 人くらいに大学生が 1 人着くという形で個別の指導を行っている。

今度、3 年生を対象にして、6 月 30 日（土）に PTA の地区別懇談会の全体会が開催されるということで、今後生徒の募集をしていく。今後そういった動きがあればまたその機会にでも報

石本教育長
各課長
石本教育長

告させていただきます。
他にあるか。
特になし。
今、部課長方からたくさんの報告事項があった。これについて質問等あるか。

石本教育長

質疑応答

私から1つ。生涯学習課であるが、資料10の説明のところで教職員を対象としたふるさと郷育の関係について。ここ何年かやっていなかったという話であるが、新たに浜田市に来られた先生を対象に、ふるさと郷育ということで、三隅で和紙とか漁業の話だとか、おばせの浜でカヌーとか、そういったことをやってもらったが、あれもこれと同じ事業か。

村木課長
石本教育長

同じである。材料は違うがねらいは同じである。
ではこれは、新たに浜田市に来られる方だけではなくて、教職員全員を対象にということか。

村木課長

ほぼ全員である。ふるさと郷育を担当している職員も入れている。

石本教育長

確かにそういう意味では、以前は転勤して来られた先生方を対象にということであった。

村木課長
石本教育長

そうである。
承知した。
たくさん資料がある。今までは時間のことを考えてまとめて報告してもらい、一括で質問をしていたが、途中で分けた方が良いか。

藤本委員

一括のままで良い。
資料7の3人の先生方が福井市の研修に行かれたことについて。この方が、今後何かしらの機会に報告されるのか。

牛尾室長

2学期の9月の下旬と、10月にそれぞれ、各学校で授業を公開して、その後報告会を予定している。浜田市全体に呼び掛けて、報告会を行う。

藤本委員
石本教育長

承知した。
小学校の外国語活動を、今年度、先行実施しているが、1学期は順調にスタートされたということで良いか。

牛尾室長

今、少しずつ学校訪問に行って、全職員で研修ということが続いている。

石本教育長 牛尾室長 金本委員	学校現場から個々の問題は入ってくるか。 指導案を作るに当たって、こちらに相談は時々ある。 私が聞いたところによると、ALT の先生があまりにも日本語が 話せなくて困ったという話であった。
石本教育長	確かに日本語がほとんどできない方もおられる。学校訪問でも その辺のところを聞くことにしている。 資料 9 のはまだっ子共育フォーラムについて。これは忙しい時 期ではあるが、委員方に直接個別にはご案内していないか。
村木課長 石本教育長	今からご案内させていただく。 1 日のフォーラムであるので大変かと思う。できるところだけ でも委員方に出席していただければと思う。 学校訪問について今日は何かあるか。
日ノ原係長 石本教育長	次の 4 その他で説明する。 承知した。 その他はよろしいか。
委員方	特になし。

4 その他

(1) その他

日ノ原係長	資料 5 行事予定表であった教育委員の学校訪問について、7 月 4 日からよろしく願います。いずれも北分庁舎の裏側に車を停 めていただいて、そこから公用車を運転手付きで準備しているの で、ワゴンやマイクロバスで一緒に移動していただく形になる。 8 時 35 分出発であるのでよろしく願います。1 日行く場合、給 食を喫食する学校の関係もあるが、給食費については最後の日に 一括でお支払いをお願いします。 続いて、委員方に平成 30 年度島根県市町村教育委員会連合会 第 1 回理事会総会及び研修会の開催についてという資料を置かせ ていただいている。藤本委員に理事会にご出席いただくというこ とで、1 番下に米印で書いてあるが、理事様には昼食を準備する ということである。理事会の開始時間が、10 時 45 分からとい うことで、少し早まっている。裏面を見ていただき、研修会の詳し い内容について、講師は文部科学省の参事官の方で、演題が教職 員の働き方改革についてということで、研修会が行われるとい うことである。よろしく願います。 続いて 3 点目。委員方の封筒に、四訂版の教育委員会必携を今
-------	--

石本教育長 回購入させていただき入れている。本来、教育委員会制度が変わったところでお配りしなければいけなかったものが大変遅くなり、申し訳ない。また読んでいただければと思うので、よろしく願います。

石本教育長 必携について、中身は大きく変わっていないが新しい制度に変わったので、それに基づいた内容が書いてあり、今までは教育委員必携であったが教育委員会必携になった。それがどうも、教育長が教育委員ではなくなったので、教育委員会必携に変わったと解釈している。

日ノ原係長 学校訪問で給食を食べないのは7月6日といつか。

石本教育長 9日である。

日ノ原係長 13時ごろに帰ってくるのに食べないのか。

石本教育長 申し訳ない。

日ノ原係長 他の日も含めて4日間ということであるか。

石本教育長 雲雀丘小学校が他の日に入っていたが、雲雀丘小学校の都合が悪く、無理やりここに入れさせていただいている。

日ノ原係長 では、7月4日、5日と、10日、12日の4日間が給食を食べるということであるか。

石本教育長 そうである。

日ノ原係長 承知した。

石本教育長 それと、平成30年度島根県市町村教育委員会連合会第1回理事会総会及び研修会は、委員方はどの様な形で行ってもらうのか。

日ノ原係長 先月のところでお話しした。藤本委員は午前中に理事会があるのでJRで行っていただく。宇津委員は行く途中で待ち合わせをして、車に乗っていただく。金本委員、花田委員については北分庁舎の裏からご乗車いただいて9時出発ということである。帰りは皆さん一緒である。

石本教育長 承知した。それではその様な日程であるので、よろしく願います。

委員方 今の教育委員会の学校訪問と、平成30年度島根県市町村教育委員会連合会第1回理事会総会及び研修会について、何か質問があるか。

委員方 特になし。

委員方 学校訪問は、皆と一緒にではなく、近くのところは自分で行って自分で帰られる場合もあるかもしれない。

藤本委員
石本教育長
藤本委員
石本教育長
藤本委員
石本教育長

それは個別に連絡する。

願います。

学校訪問は上着なしでも良いか。

おそらく校長先生方は着ておられないと思う。

それなら我々もなくても良いか。

なくても良いと思う。

予定していた案件等については審議が全て終わった。委員方からその他報告事項等あれば願います。

藤本委員

私から1つ2つ伺います。1つは、最近聞いたことであるが、三隅中学校の生徒が海で事故を起こしてヘリコプターで運ばれたという話を聞いた。その話はまだ教育委員会にはきていないのか。

石本教育長
市原課長

きている。学校教育課から説明を願います。

先週の24日(日)に、田ノ浦海岸で三隅中学校の1年生と2年生が海に入った。周りには入らない中学生と小学生もいたが、2人の生徒が入った。非常に波が高かったが、泳ぐことが可能ということで入った様である。入ったが、波が高かったので1人が沖へ流された。もう1人も助けに行こうとしたが、流された。幸い自力で岩場を伝って自力で岸にたどり着いて上がってきたという様な状態であった。1人は救急車で救急搬送された。もう1人は少し吐血などがあったため、ドクターヘリで医療センターまで搬送されたということがあった。三隅の小松分室長と、三隅中学校の教頭先生から15時半くらいに着信があったが、私が気付いたのが16時半であったので、17時に医療センターに行った。その時には両方の保護者さんが、時間を置いて来られ、それから担任の先生も来られて様子を確認した。幸い命に別状はなく、1年生の子は少し症状が軽く一般病棟へ行った。2年生の子については水をかなり多く飲んでいたので、救急へ運ばれたということで、その日はそういった形で入院された。

1年生についてはその日に退院。2年生については次の日に一般病棟に行き、回復に向かっていたというところであった。その時に海で溺れたということもあり、警察署の刑事課の方が聞き取りに来られたり、海上保安部の方も来られたりしていた。報道発表はないということであったので、教育長への報告はしたが、それ以外のところには報告はしていない。学校の中では、口頭での注意喚起は行ったと聞いている。抜けているところがあるかもし

れないが、概略はこういったことである。

藤本委員

大事に至らなかったということで良かったが、ヘリコプターまで動員ということになると、私たち素人からすると結構きつかったのかと思うし、子どもだけで海へ行ってはいけないということは、小学校では当然やかましく言っていると思うが、中学校はそこまでは言っていないかとも思うがどうか。

石本教育長

行っていいかどうかという前に、まだ海へ入ってはいけない時期である。夏休み前は海に入ってはいけないことになっていると思う。その辺のところ、生徒指導上の問題は確かにあるので、今度の校長会でも話はすることになると思うが、ただ、学校の授業中ということではなく、休みの日のことであつたので、特に事件性もないし、不注意でのことだということで、警察とか海上保安部が報道には出さないということを決められた様である。確かに、私までは連絡が来ていたので、私が委員方に連絡しなければいけなかった。

藤本委員

それは良い。大事でなかったのもそれで納まるが、色々思いがけないこともあるが、学校としても徹底はされないにしても、それなりの指導はされなければならないと思う。

市原課長

昨日、海上保安庁の方が、学校、支所、教育委員会に来られ、ポスターとDVDを持ってこられた。学校にも配ってある。必要であれば、全学校分を焼いて配れると言われた。それから校長会が7月3日にあるので、その時にはポスター、チラシの全校配布を予定している。それから、離岸流の周知があるが、先般、国府海水浴場の対策協議会があつた。これは、海上保安庁、警察、PTA、学校長、市の環境課、観光交流課、水産振興課、教育委員会等が集まって開かれる会で毎年あり、国府海水浴場の安全対策やゴミの美化、それから見守りといったことをトータルで、皆と関わりながらやろうということである。その中でも、去年、国府小学校の児童が離岸流で流されて新聞に出たということがあつた次の年であるので、しっかりと周知をしないといけないということで、校長会でも離岸流には気を付けましようとお伝えしようと思つていたところである。それに加えてこの件があつたということで、海とか水は危険であるということ、色々な機会に周知していきたいと思う。

金本委員

保護者の方で知っている人はいるのか。

石本教育長

三隅中学校の保護者であるか。

金本委員
石本教育長
市原課長

そうである。

学校の保護者には言っていないのではないか。

保護者には、生徒たちが言っているかもしれないが、保護者を集めてということはしていない。

金本委員

今度、7月5日が地区懇談会である。おそらくその中でその話になると思う。

市原課長
石本教育長
市原課長
石本教育長

そこでは言われると思う。

今回の原因も離岸流であるのか。

少し波が高かったのはあるが、離岸流かどうかはわからない。

いずれにしても今から水泳や海水浴の時期を迎える。事故については気を付けていかなければならない。

市原課長

たまたま家にいて、先生方と保護者も来られるということであったので、何もできないが、2時間ぐらい先生や保護者の方がおられたので、処置を待っている間にご心配でしたということをして帰ったところである。幸い、生徒さんの顔を見たら、落ち着いて、寝ておられた。

藤本委員

承知した。

もう1点。来月から学校訪問をさせていただくが、先般、ニュースで、いじめを苦に自殺したという事案が報道されていた。あって良いことではないが、テレビを見ていると、2つ問題があった。1つは、その子が黄信号を家庭の中でも何度も出していたが、親が見過ごしていた。それについて、対応されなかったということである。もう1つは、学校においていじめについての学習会というのがあまりなかったというのが、テレビ局が取材した段階で報道された。今、浜田市でもいじめ防止については、ステッカーを何年前に作って各教室の目につくところに掲げていただいているが、多少風化したのかと思う。今度、教育委員会の学校訪問の時に私から、それぞれの学校でこのことについて、どの様な形でいじめ防止についての勉強会を子どもたちにやっているかという質問をしようと思っている。それぞれ学校で違うと思う。正しい答えというのではないかもしれないが、どういう教育をされているかという質問をしようと思っている。この様な質問をしても差し支えないか。

石本教育長

差し支えない。

おそらく人権教育活動でやったりだとか、人権集会、道徳の時間にやっている。

藤本委員

私がなぜこんなことを聞くのかというと、ある人に出会っていじめ問題の話が出た時に、その人が、はっと思ふ様なことを言われた。いじめというのは、どのくらい数があるか知っているかと聞かれたが、私は知らなかった。そこから入らないと、子どもたちに人権学習会だ、人権問題だと言っても中々それは聞き流して終わってしまうのではないかとその人に言われた。そのことは伏せて、校長先生方には聞いてみようと思う。

石本教育長
委員方

その他意見はあるか。

特になし。

次回定例会日程

定例会 7月26日(木) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 8月24日(金) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

15:22 終了